

地域ズームアップ!!①

『石浜区』



おもと 石浜区万年青クラブ設立後、初のスポーツ大会出場！

石浜区では、行政区の事業としてベタンクに取組んで初となる「ヘルシースポーツ地区大会」への参加がきっかけとなり、令和3年4月に「石浜万年青クラブ」という老人クラブを設立しました。コロナ禍により行事等の中止が相次ぐ中ではありましたが、令和3年度女川町老人クラブ連合会主催のスポーツ大会が開催され、万年青クラブ会員がベタンク競技・グラウンドゴルフ競技へ初出場しました。ベタンクの練習日も週1回から週3回に増え、皆さんの楽しみ・生きがいの一つとなってきているようです。グラウンドゴルフも石浜公園で練習していますが、大会を機に隣地区の「宮ヶ崎球遊会」との交流を兼ねた練習へも出向いています。

初めは少人数から始まったベタンクですが、今は何をすることも声かけ一つで「みんなが集う」動きが生まれてきています。

他にも月1回のお茶会も再開し、飲食についてはまだ自粛中ですが集う機会は少しずつ増えてきているようです。



こけ 苔テラリウムづくりで癒しの時間

石浜区では、コミュニティスペースうみねこ 八木氏の支援のもと、苔テラリウムづくりを行いました。

苔植物は、お花屋さんでもよく目にするもので、青々としていてそのかわいい姿に、年齢問わず癒されると、今とても人気がある植物です。

この「苔テラリウム」、作り方はいたって簡単で、瓶の容器に苔を敷き詰め森にたとえ、そこに自分の感性で飾りをしていきます。湿潤なガラス容器の中は苔にとって快適な環境となります。そのため、長期間飾ることもできると一石二鳥なのです。

参加された皆さんは、コツコツ黙々と苔に触れながら癒しの時間を堪能されていました。

万年青（オモト）クラブの名付け親 遠藤 進区長に『万年青』に秘められた想いなどをお聞きしました。

「万年青」と書いて「オモト」と読みます。オモトは、青々とした光沢のある葉が一年中枯れることなく茂るので、緑の少ない季節を彩ってくれます。そのために昔から縁起の良い植物とされ、別名縁起草（千年も万年も生きる）とも言われていたようです。花言葉は、長寿・長命です。

高齢者の皆さんが、体の全部が元気で長生きができることを願ってクラブの名前にしました。



地域ズームアップ!!②

南三陸交流会へGO!!

コミュニティスペースうみねこ・歌津地区復興支援の会一燈（いっと）様の支援をいただき、石浜区万年青クラブ・宮ヶ崎球遊会合同で女川を飛び出し「南三陸グラウンドゴルフ交流会」へ行ってきました。当日は、秋空のもと、万全な感染対策をしながら、南三陸の皆さんとグラウンドゴルフを通して交流を深めてきました。長いコロナ禍で久しぶりの遠出となった皆さん、うれしさがあふれ出たとてもチャーミングな笑顔が見られました。

楽しい時間を過ごし、女川町での再会を約束しながら会場を後にした皆さんでした。

次は女川にございん！



嬉しいね～！アラ、エッサッサ

地域ズームアップ!!③

大原北区 秋だ♪さあ動き出そう！～歩け歩け運動&芋煮会～

新型コロナウイルス感染症も少しずつ落ち着き始め、地域も動き出そうとしています。大原北区では2年ぶりとなる歩け歩け運動を開催しました。

コースをA・Bの2つに分け、Aコース1時間・Bコース30分ほどのコースを自分の体力に合わせてコースを選び歩きます。（私、住吉生活支援コーディネーターもAコースと一緒に歩きました）

女川のおいしい空気を吸いながら、景色を眺めおしゃべりしたり、立ち止まって女川の変化を見たりとあつという間に歩き切ることができました。

ゴールが近くなるにつれ、おいしそうなおいが漂い皆さんのテンションもまた上がりました。

おいしい新米おにぎりとお汁がご出迎えです。「またすぐやっべし。やっぱり楽しいね、気持ちがいいね。」と皆さんの声！住民さんのパワーに、大原北区はこれからどんどん動き出しそうな勢いです。



大原北区 鈴木 浩区長 談

ようやく少しずつコロナも落ち着いてきて安心しました。でも、この長かった自粛生活で見えていたのは外出の機会の減少による体力低下で自宅での転倒です。また一刻も早くみんなで顔を合わせて笑いたいそれが何より一番だと思っています。